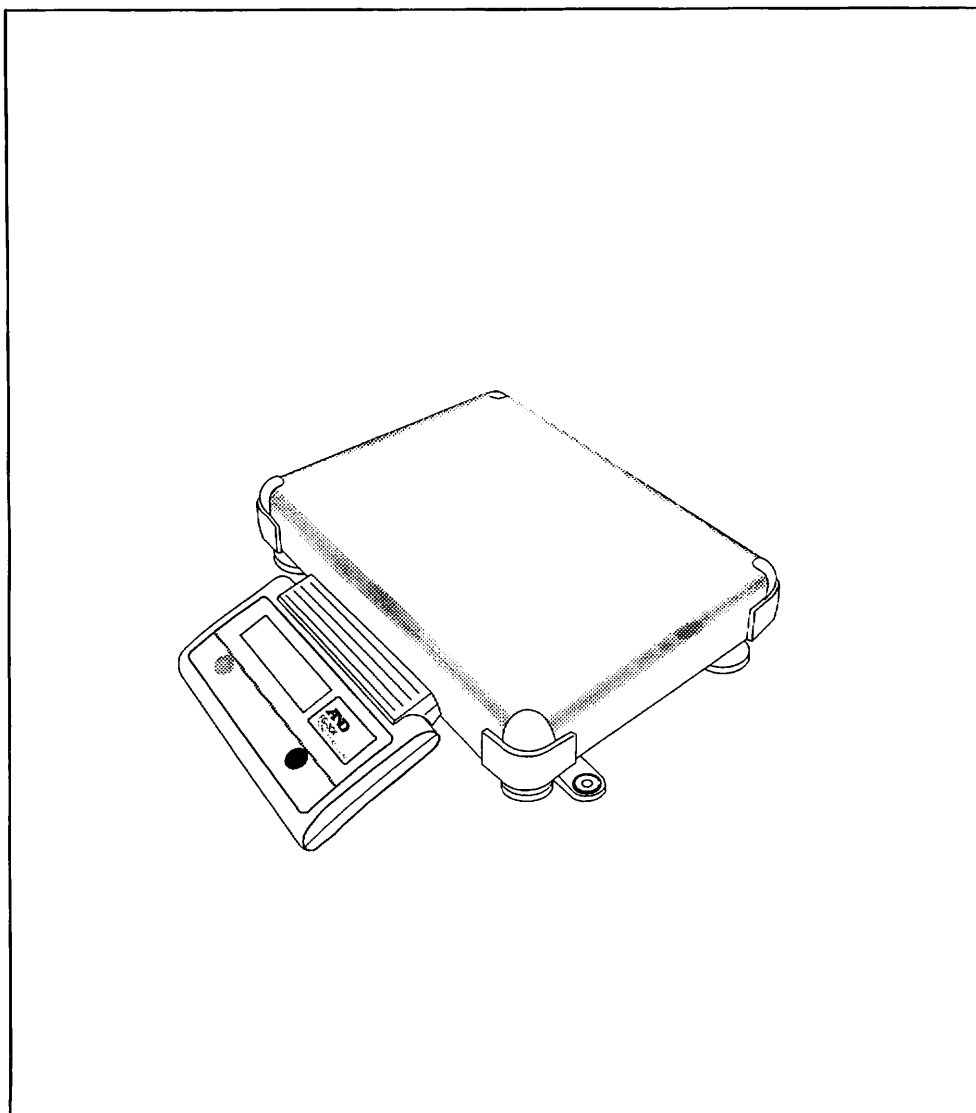


FGシリーズ

パーソナル台はかり

取扱説明書



AND 株式会社 **エー・アンド・ティ**

WM:PD4000080

注意事項の表記方法



危険

「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症を負う危険の状態が生じることが想定される場合」について記述します。



警告

「取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険の状態が生じることが想定される場合」について記述します。



注意

「取扱いを誤りやすい場合」や「本機を使用するときの一般的なアドバイス」について記述します。

ご注意

- (1) 本書の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
- (2) 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容は万全を期して作成しておりますが、ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、お買い求めの販売店または最寄りの弊社営業所へご連絡ください。
- (4) 当社では、本機の運用を理由とする損失、損失利益等の請求については、(3) 項にかかわらずいかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

目次

1.	概要	ページ	2
2.	梱包内容	ページ	4
3.	注意事項	ページ	5
4.	組立て	ページ	6
5.	表示部の各部名称と機能	ページ	7
5-1	ローバッテリー表示と電池交換	ページ	8
6.	準備	ページ	8
7.	使用方法	ページ	9
8.	ファンクション	ページ	10
8-1	オートパワーオフ	ページ	10
8-2	RS-232C	ページ	11
9.	オプション	ページ	12
	OP-01 壁掛け金具	ページ	12
	OP-02 ポール	ページ	14
	OP-03 RS-232Cインターフェイス	ページ	16
	OP-04 プリンタ台	ページ	19
	OP-05 プリンタ用インターフェイス	ページ	19
	OP-06 キャリングフック	ページ	20
10.	キャリブレーション	ページ	21
10-1	キャリブレーションの準備	ページ	21
10-2	重力加速度補正	ページ	22
10-3	ゼロのキャリブレーション (ゼロの校正)	ページ	24
10-4	スパンのキャリブレーション (スパンの校正)	ページ	25
11.	修理を依頼される前に!	ページ	27
12.	仕様・外形図	ページ	28
13.	重力加速度マップ	ページ	30



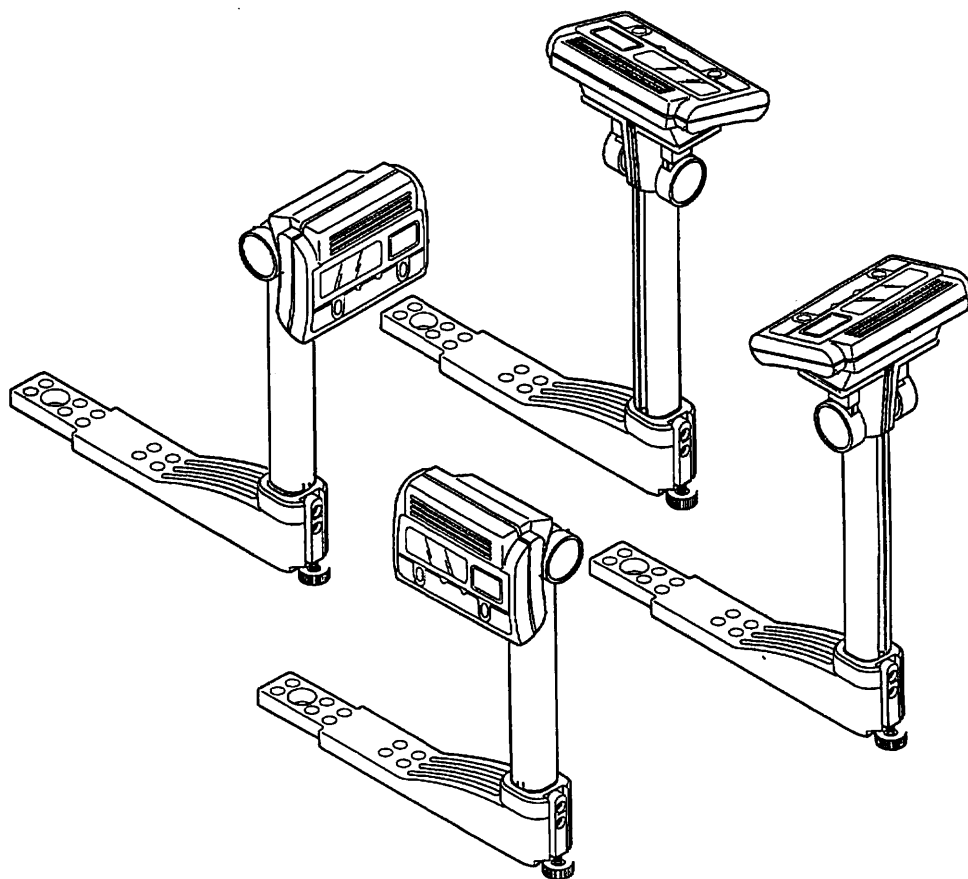
1. 概要

このたびは弊社のはかりをご購入いただきましてありがとうございます。

このFGシリーズは、表示部と台ひょう部とが一体になった一体型と、表示部と台ひょう部の間にボールを付けたボール付き型の二種類があり、次の特長があります。

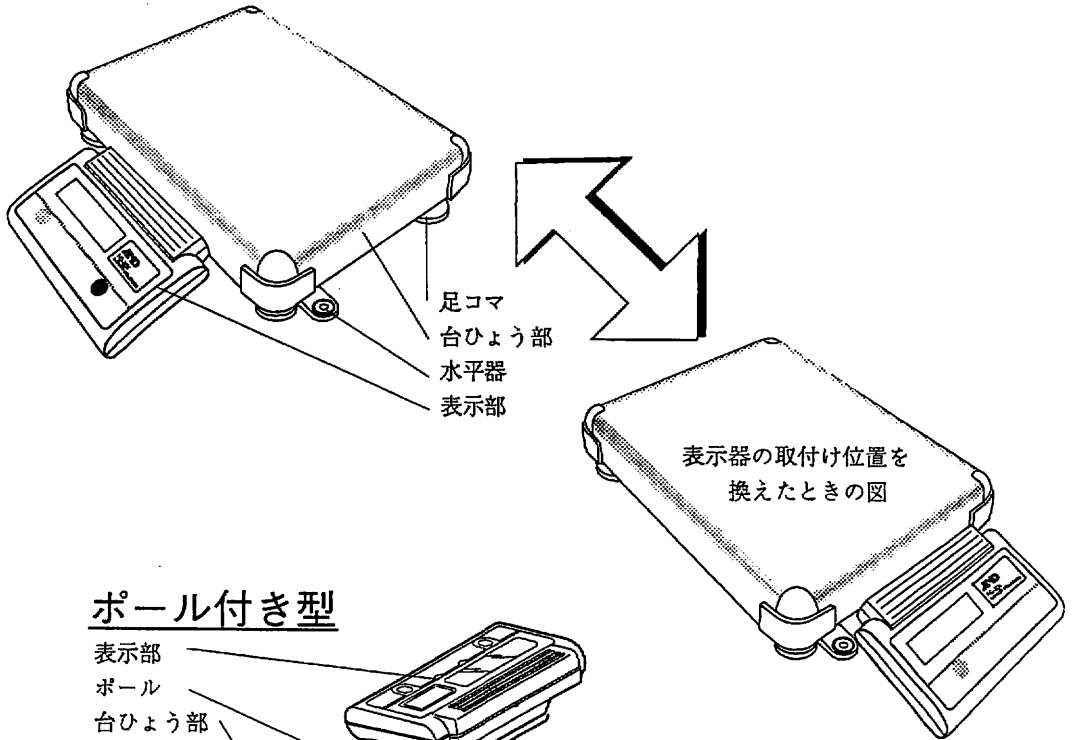
1. 一体型の表示器は台ひょうの2箇所に取り付けできます。(次ページ参照)
2. ボール付き型のボールと台ひょうとの距離を変えて、ひょう量皿より大きな物も量りやすくなります。(次ページ参照)
3. ボール付き型の表示器は4方向に取付けできます。(下図参照)
4. ACアダプター又は乾電池(別売)で使用できます。
5. オートパワーオフ機能で乾電池の消耗を防ぐことができます。
6. RS-232Cを使ってコンピュータとデータ通信できます。
(オプション OP-03使用)
7. 計量値をプリンタに印刷できます。(オプション OP-05使用)

また、重量を検出するセンサー部にロードセルを使用しています。電波障害及び、静電気等による誤動作をなくすために、RFI、EMI対策がされています。

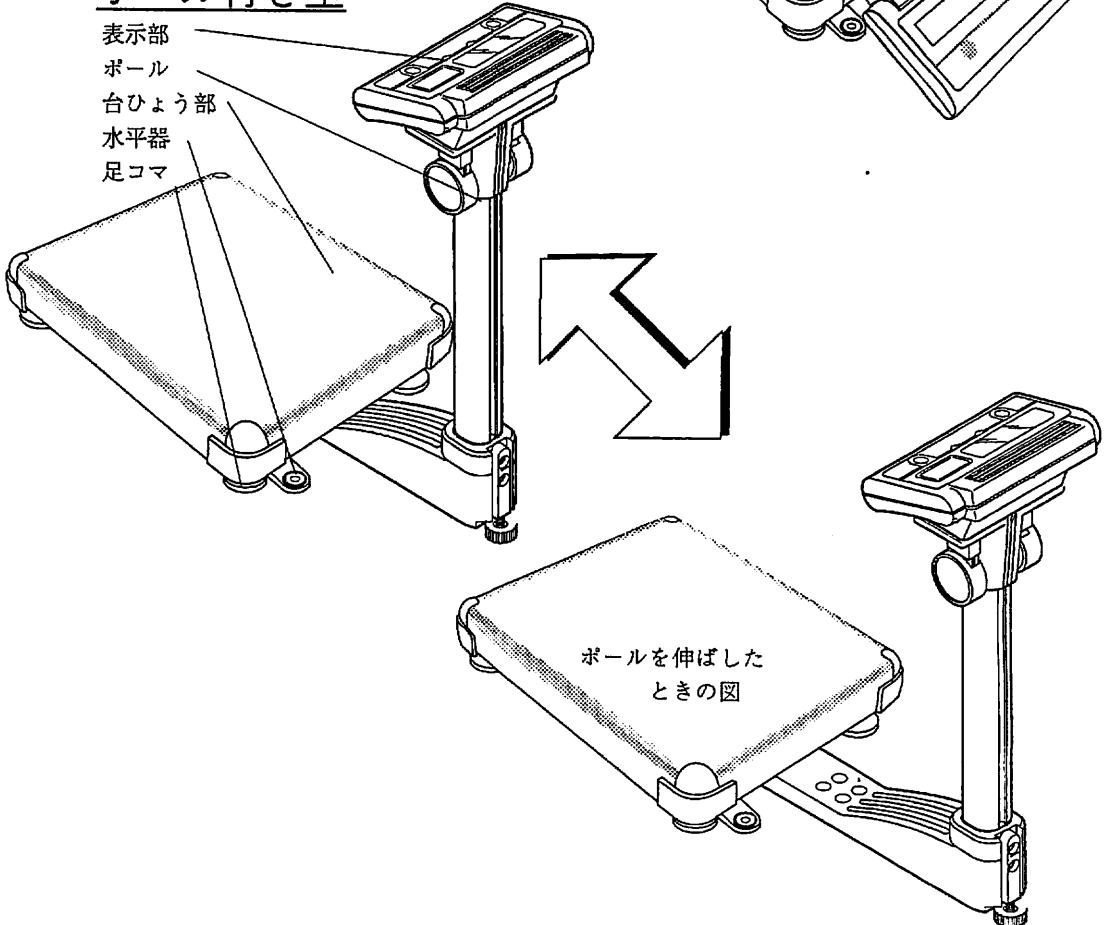


表示器の4方向への取付け例

一体型



ポール付き型

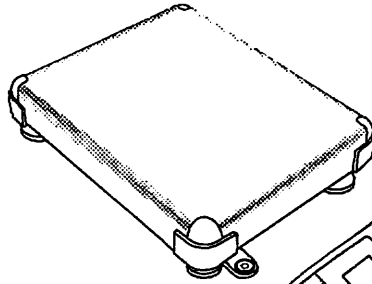




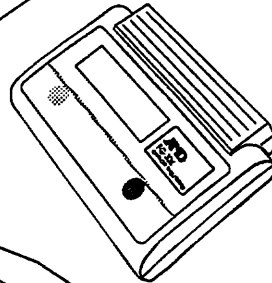
2. 梱包内容 (別冊参照)

梱包箱を開けた際に、以下の物が入っていることを確認して下さい。

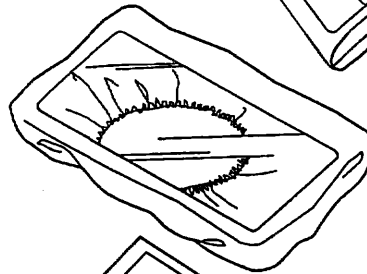
台ひょう



表示器

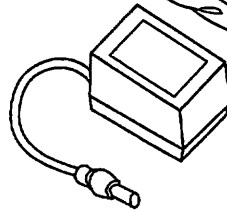


表示器カバー

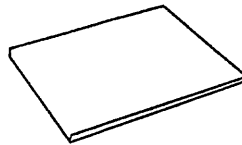


ACアダプター

AX-TB113



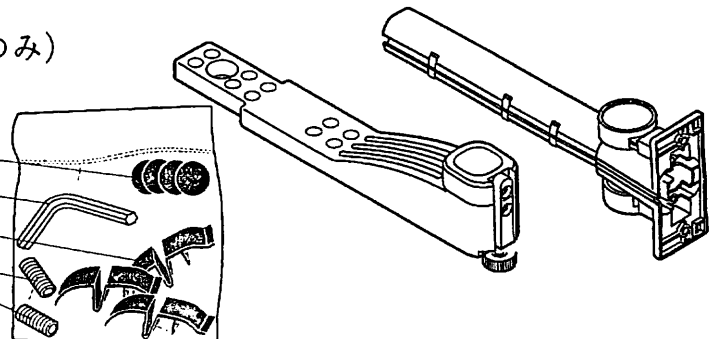
取扱説明書



ポールとポールの付属

(ポール付き型のみ)

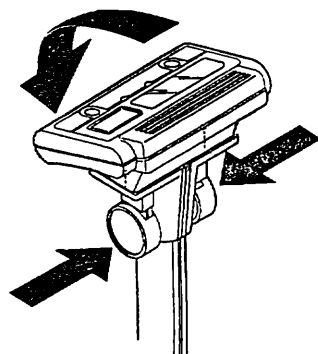
メクラシール
六角レンチ
ケーブル押さえ
ポール取付けネジ





3. 注意事項

- (1) 振動や風の影響を受けない平らな場所に設置してください。
- (2) 直射日光の当たる場所は避けてください。
- (3) 外来電源ノイズや、強力な電波、磁気等に注意してください。
- (4) 足コマを回して、水平器の気泡が中心に来るように調整してください。
- (5) 表示部に水がかかる様な場所では、付属のビニールカバーを使用してください。
- (6) 表示器下のポール両側の丸キャップ部を内側に押し込みながら角度を適当な位置に変えてください。
- (7) FGシリーズは精密機器なので、台ひょうに衝撃荷重・過荷重などを荷重しないよう取り扱いに十分注意してください。また、ボールペン等尖ったものでスイッチを押さないでください。
- (8) 清掃されるときアルコール・シンナー等の有機溶剤は使用しないでください。

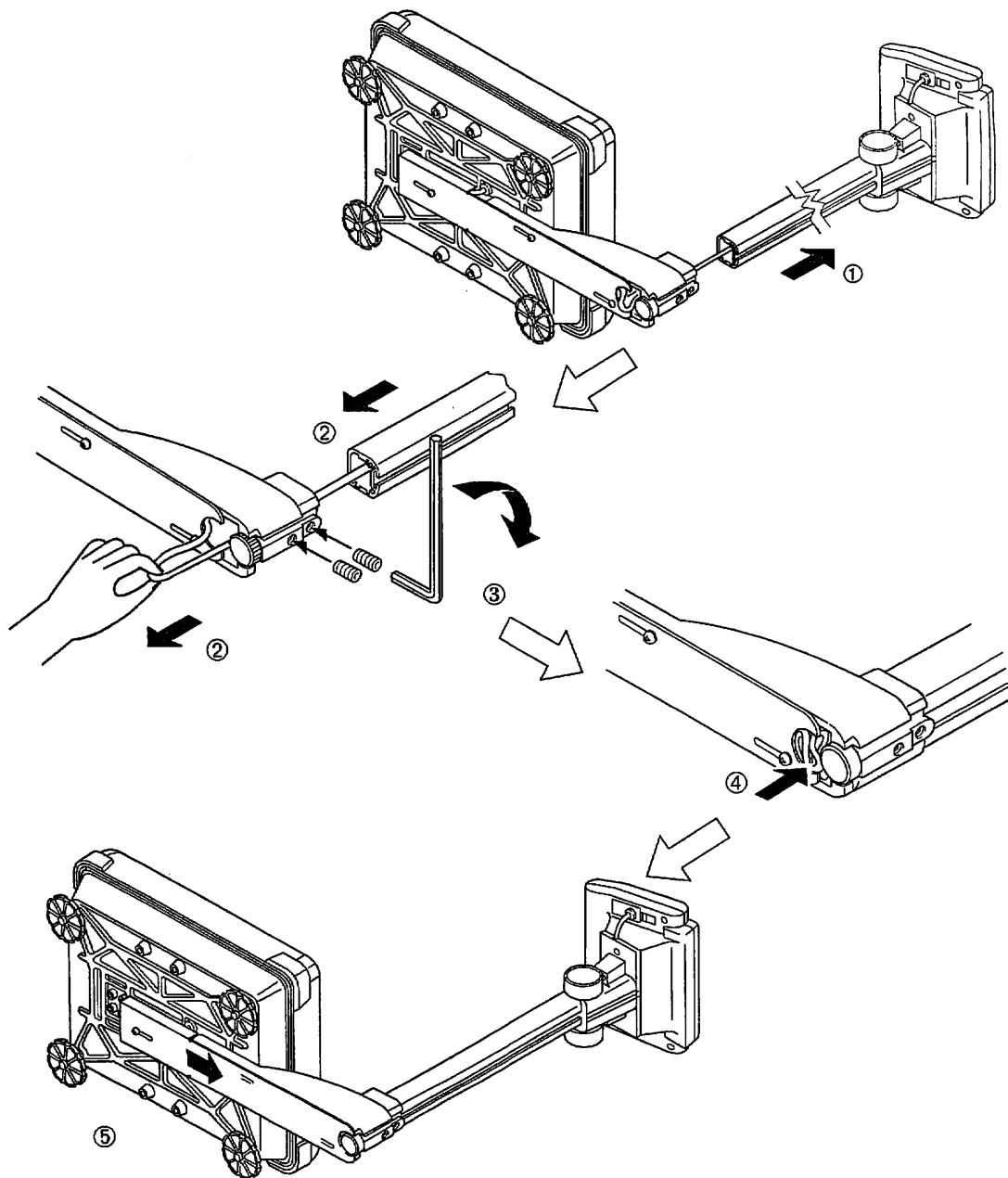




4. 組立て

ボール付きの場合組立が必要です。

- ① ケーブルがボール内で絡まないように一旦引き上げて下さい。
- ② ボール内で絡まないようケーブルを引っ張りながらボールをボールベースに差し込んで下さい。
- ③ ネジで固定して下さい。
- ④ ケーブルボックスに余ったケーブルを収納して下さい。
- ⑤ ボールの底プタのねじをゆるめて底プタを閉じ、ねじで固定して下さい。
(スライドさせてください)

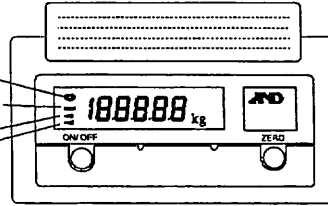




5. 表示部の各部名称と機能

パネル面

安定マーク
マイナス符号
風袋引き中
ゼロ点

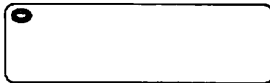


電源のON/OFFスイッチです。

オート・パワーオフ機能を使うと電源ON後、5分以上表示ゼロが続くと、本器は自動的に電源OFFします。オート・パワーオフ機能の設定は、ファンクション設定により行ないます。



表示をゼロにすることができます。



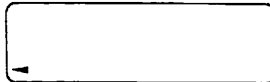
安定マーク。表示が安定すると表示します。



マイナス符号。表示をゼロにした重さより軽い時表示します。



風袋引中の表示。表示が風袋引きをした正味重量のみを表示していることを示します。風袋を乗せてZEROスイッチを押すと表示します。ただし、計量値が秤量の2%以上の場合のみ表示します。

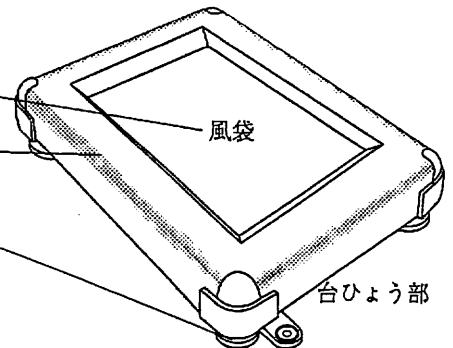


ゼロ点表示。表示がゼロのとき表示します。また、台ひょうに何も乗せずにZEROスイッチを押すと表示します。

風袋とは計量するものを入れる箱や皿などのことを言います。

[箱や皿など]

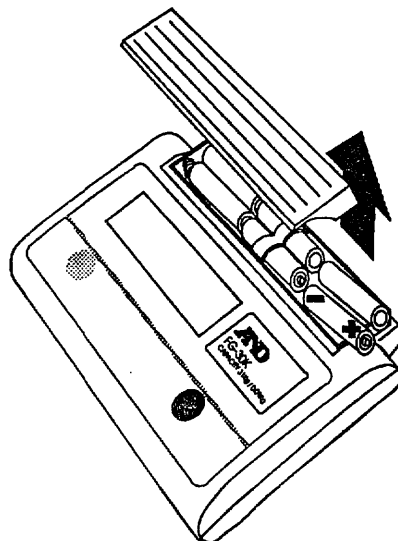
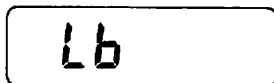
計量皿
足コマ





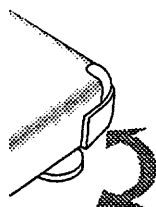
5-1 ローバッテリー表示と電池交換

使用中に、ローバッテリー表示（下図）が出たら直ちに使用を中断して新しい電池に交換して下さい。電池の交換はケースを開け、単3型乾電池を6本まとめて交換してください。交換の際は、電池の極性を間違えないように交換してください。

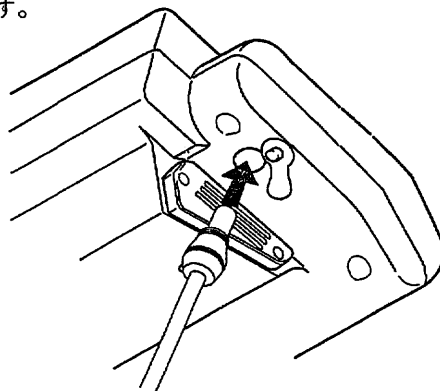


6. 準備

- (1) 足コマを回して水平器の泡が中心に来るよう台ひょうの水平を合わせます。



- (2) ACアダプターを表示器に接続します。





7. 使用方法

- 1 計量皿の上に何も乗せないようにします。

注意 電源を入れたとき計量皿の上に何か乗っていると
ZERO スイッチが機能しないことがあります。故障で
はありません。「11. 修理を依頼される前に!」を
参照してください。

- 2 ON/OFF スイッチを押して電源を入れます。表示チェックが始ま
ります。

- 3 表示値がゼロになります。
(ゼロにならない時は、ZERO スイッチを押して下さい)

- 4 風袋だけを乗せます。

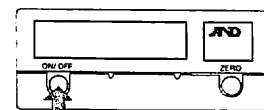
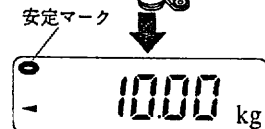
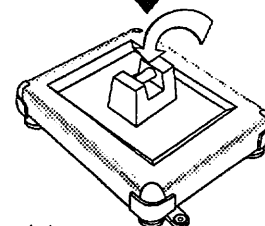
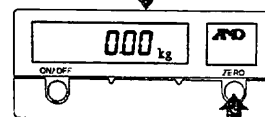
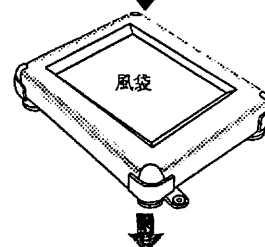
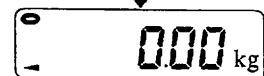
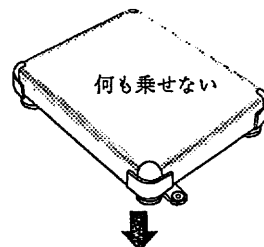
- 5 ZERO スイッチを押して風袋引を行います。

- 6 はかりたいものを乗せます。

- 7 表示の安定マークが表示したなら、値を読み取ります。

- 8 はかり終わったものを降ろし、手順4～8を繰り返します。

- 9 電源を切りたい時は、ON/OFF スイッチを再び押し表示を消します。





8. ファンクション

FGシリーズには、基本動作の他に、以下の機能が設定できます。

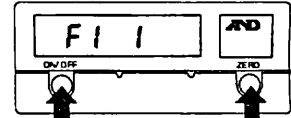


8-1 オートパワーオフ

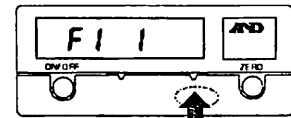
何も操作されないうち、ゼロ表示が5分間続くと電源を自動的に切って、電源の消耗を防ぎます。

設定方法

1 ZEROスイッチを押したまま、ON/OFFスイッチを押して電源を入れてください。



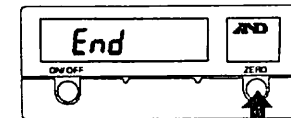
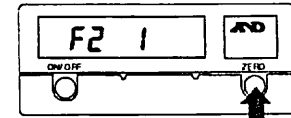
2 ZEROスイッチ左側の位置に値合わせスイッチがありますので、それを押して機能の選択を行ってください。



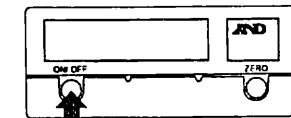
値合わせスイッチ

F1	0	オートパワーオフ機能を使用しない
	1	オートパワーオフ機能を使用する

3 ZEROスイッチを2回押して、End表示させてください。設定値を登録します。



4 通常の計量に戻るには、ON/OFFスイッチを押してください。設定を終了します。



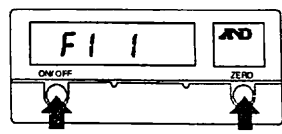
8-2 RS-232C

オプションのシリアルインターフェースを接続することによって、RS-232Cの動作を以下のように、選択できます。

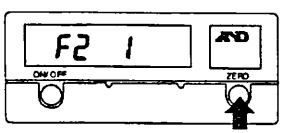
オプションのプリンターインターフェースを使用するときは常に F2-0 に設定してください。

設定方法

1 ZEROスイッチを押したまま、ON/OFFスイッチを押して電源を入れてください。

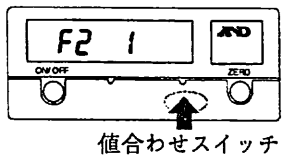


2 ZEROスイッチを押して F2 を表示させてください。
RS-232Cの動作が設定可能になります。

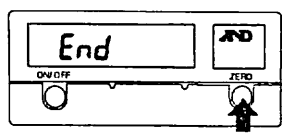


3 ZEROスイッチ左側の位置に値合わせスイッチがありますので、それを押して動作の選択を行います。

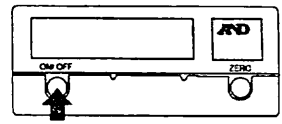
F2	0	ストリーム・モード
	1	コマンド・モード
	2	使用しないでください



4 ZEROスイッチを押して、RS-232Cの動作を登録してください。



5 End表示を表示したら、ON/OFFスイッチを押して、設定を終了してください。

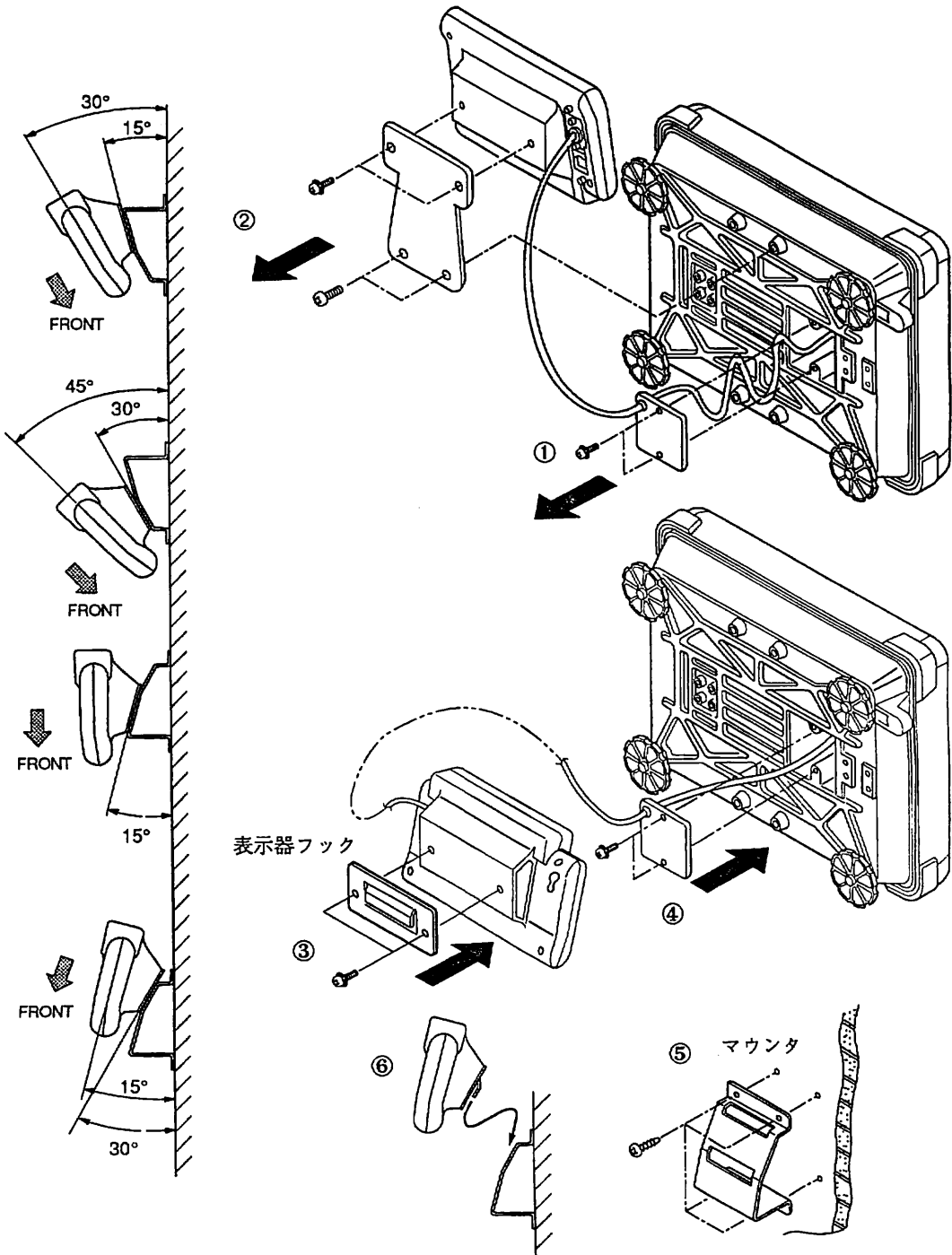




9. オプション



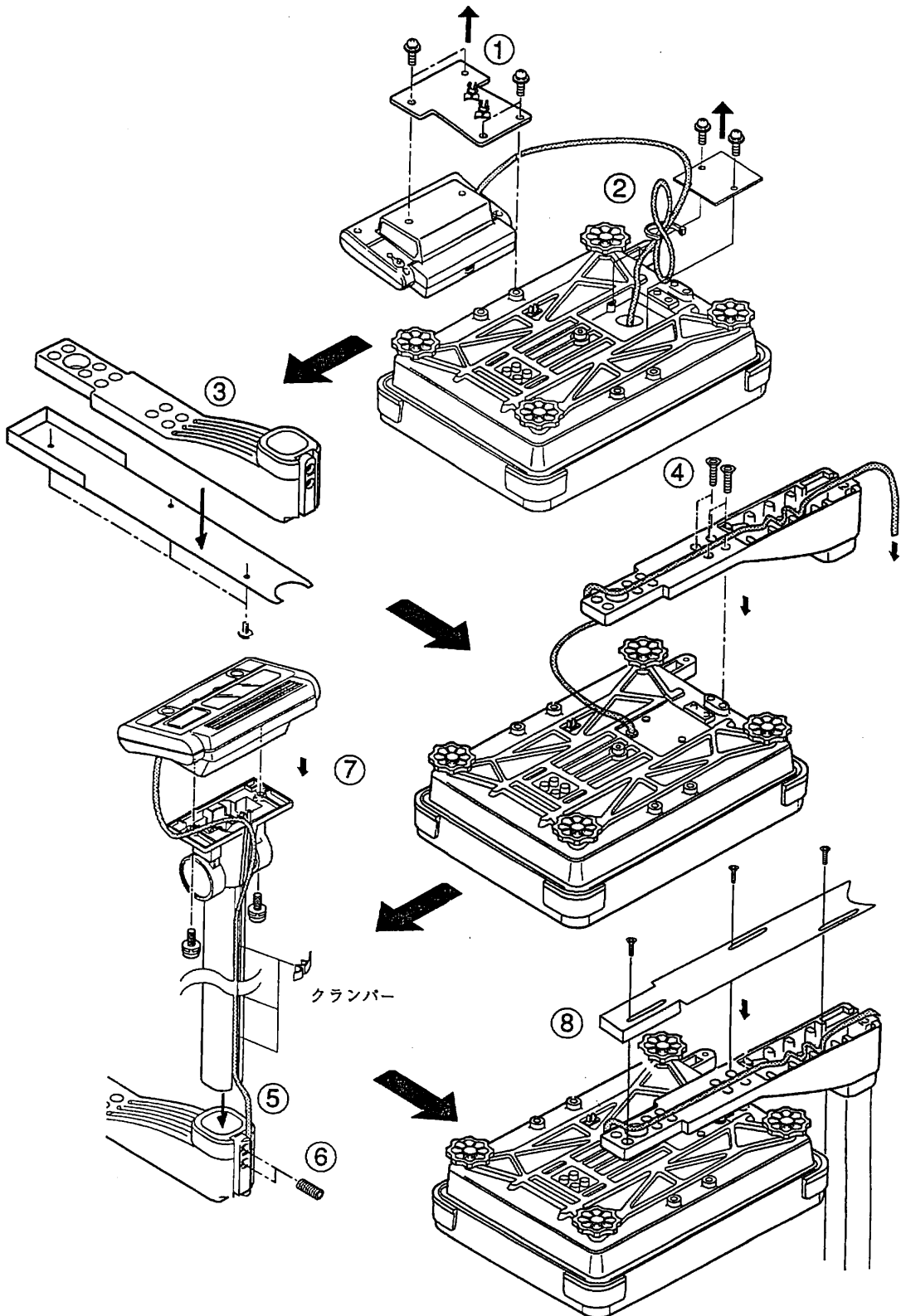
OP-01 壁掛け金具



表示器部分を壁に取付ける金具です。表示器の付け方は4種類あります。

取付け方法

- ① 蓋のねじ2本を外し、中のケーブルを引き出してください。(M3x6)
- ② 表示器と台ひょうを固定しているねじを4本を外してください。(M4x8,M6x12)
- ③ 表示器フックの方向に注意しながら表示器に取付けてください。(M4x8)
- ④ 余ったケーブルを収納して蓋を閉じてください。(M3x6)
- ⑤ マウンタを壁などに付属のねじ4本で固定してください。(タッピングねじ)
- ⑥ 表示器フックをしっかりマウンタの奥まで差し込んでください。



一体型にこのボールを付けると、ボール付き型と同じになります。

- ① 表示器と台ひょうを固定しているねじ4本を外してください。(M4x8,M6x12)
- ② 蓋のねじ2本を外し、中のケーブルを引き出し、蓋を閉じてください。(M3x6)
- ③ ボールベースの底蓋を外してください。(M3x6)
- ④ ボールベースを台ひょうに付属のねじ4本でねじ止めしてください。(M6x25 Ⅲボルト)
- ⑤ ボールをボールベースの奥までしっかり差し込んでください。
- ⑥ ボールとボールベースを付属のねじ2本でねじ止めしてください。(M8x20)
- ⑦ 表示器をボールにねじ2本でねじ止めしてください。(M4x8)
ケーブルはボールの溝に添わせてください。
- ⑧ ボールベースの中に余ったケーブルを収納して底蓋を閉じてください。(M3x6)



OP-03 RS-232C インターフェイス

ファンクション設定により、ストリームモードとコマンドモードが選択できます。

(1) ストリームモード

はかりが表示している値と同じ値を常時出力します。出力されるデータは、約5回/秒です。プリンタと接続する場合は、ストリームモードに設定して下さい。

(2) コマンドモード

はかりとパーソナルコンピュータ等を接続し、コンピュータからはかりにコマンドを送って、表示データを出力させたり、表示をゼロにすることができます。用意されているコマンドはつぎの三つです。

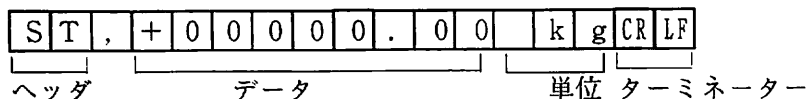
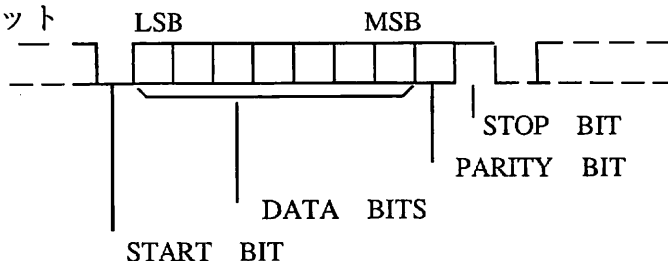
Z	CR	LF	又は、	T	CR	LF	: 表示が安定しているとき、表示をゼロにします。	
Q	CR	LF						: 表示の安定、非安定にかかわらず、表示データを1回出力します。

連続してコマンドを送るときは、500msec以上の間隔を開けて下さい。

(3) インターフェイス仕様

出力規格	EIA RS-232Cに準ずる。
伝送形式	調歩同期式 (半二重方式)
信号速度	2400bps 固定
データビット長	7ビット
パリティ	1ビット (EVEN)
ストップビット	1ビット
使用コード	ASCII

(4) データフォーマット

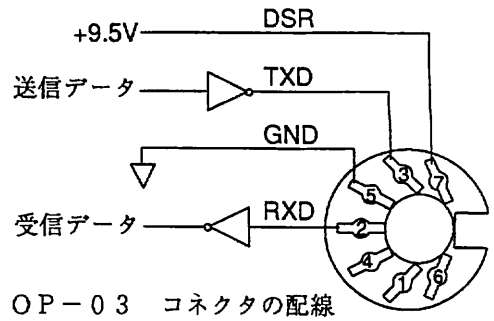


- ・ヘッダは、次の3種類があります。
 - ST: データが安定している。
 - US: データが安定していない。
 - OL: データがオーバーしている。
- ・データは、符号、小数点を含み9桁です。
- ・データがオーバーしている時は“±9999.99”を出力します。
- ・ターミネーターは、ファンクションの設定にかかわらずCR+LFが出力されます。

(5) インターフェイス回路

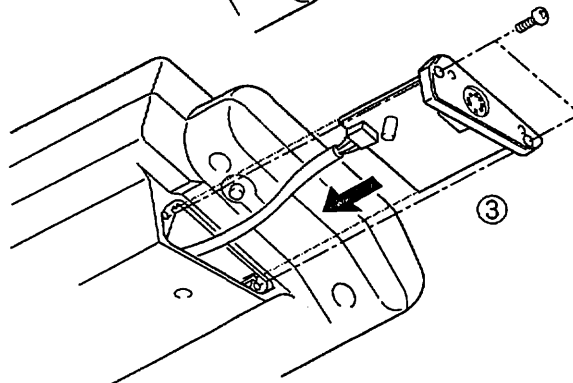
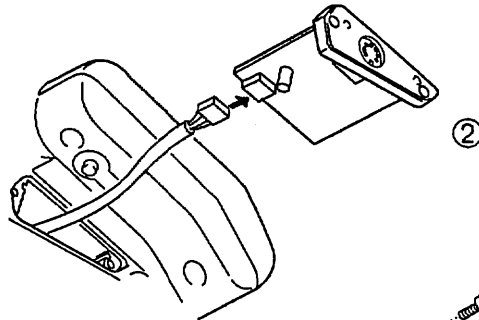
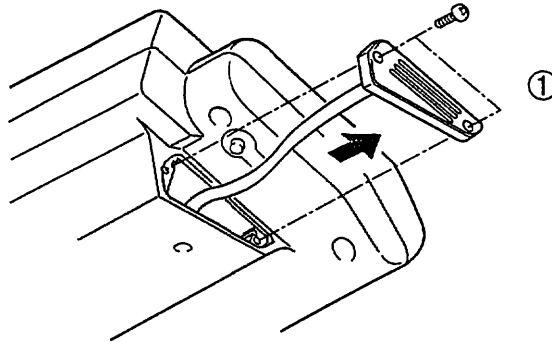
DIN 7ピン コネクタ

コンピュータと接続するケーブルは
AX-KO577A-200です。



(6) 取付け方法

- ① 表示器側面のブランクパネルを外してください。(M3x4)
- ② コネクタケーブルをOP-03 RS-232C ボードに接続してください。
- ③ OP-03 RS-232C ボードを挿入して、ねじ止めしてください。(M3x4)



(7) RS-232C サンプルプログラム

OP-03を使用して、FGシリーズと、パーソナル・コンピュータ（NEC PC9800シリーズ）を接続した場合の簡単なプログラム例を示します。

① 準備

パーソナル・コンピュータ側のボーレートの設定を2400bpsにして下さい。

② ストリーム・モード

FGシリーズのRS-232Cを、ストリーム・モードで使用する場合、プログラムを実行すると、データを受信してディスプレイに表示します。重量値は変数“DT”に代入されます。

```
10 OPEN "COM:E71NNLL", H AS #1 RS-232Cを受信する準備
20 LINE INPUT #1, DT$          データを正しく受信するために1回読みする
30 LINE INPUT #1, DT$          データを受信する
40 CLOSE #1                    RS-232Cの受信を終了する
50 PRINT DT$                   受信データを表示させる
60 DT1$=MID$(DT$, 4, 9)        重量のデータを取り出す
70 DT=VAL(DT1$)                重量のデータを数値として扱う
80 END                          プログラム終了
```

③ コマンド・モード

FGシリーズのRS-232Cをコマンド・モードで使用する場合、プログラムを実行すると、コマンドの入力待ちになります。Q、T、Zのいずれかを、キーボードより入力し、リターンキーを押すと、コマンドがFGに送信されます。Qを入力した場合は、FGからデータを受信して、ディスプレイに表示します。

Z または T : 表示が安定しているとき、表示をゼロにします。

Q : 表示の安定、非安定にかかわらず、表示データを1回出力します。

```
10 OPEN "COM:E71NNLL", H AS #1 RS-232Cの受信準備
20 INPUT "コマンドを入力してください "; KY$ コマンドの入力待ち
30 PRINT #1, KY$                  コマンドを送信
40 IF KY$ <> "Q" THEN 90          Qコマンド以外なら90行へ
50 LINE INPUT #1, DT$            データを受信
60 PRINT DT$                      データを表示
70 DT1$=MID$(DT$, 4, 9)          重量データを取り出す
80 DT=VAL(DT1$)                  重量データを数値として扱う
90 FOR C=0 TO 5000; NEXT         時間待ち
100 GOTO 20                       繰り返し
110 END                          プログラム終了
```

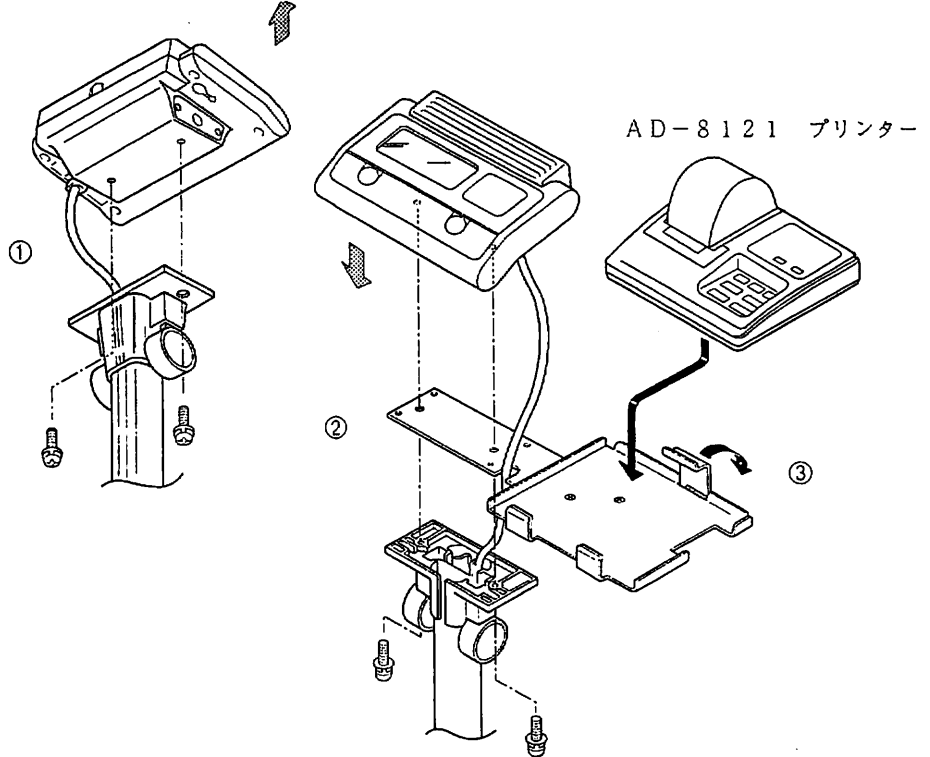


OP-04 プリント台

FGシリーズをボール付きで使用しているときに使用するプリント台です。この台は弊社のプリンタ (AD-8121) 専用です。

プリンタはプリント台を使って表示器の横に置けます。

- ① 表示器を取り外します。(M4x8)
- ② プリント台をボールと表示器の間にはさみねじ止めしてください。(M4x8)
- ③ フックを矢印方向に倒しプリンタを乗せてください。

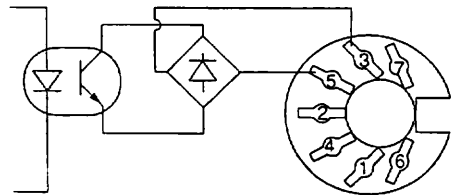


OP-05 プリンタ用インターフェース

A&D社製プリンタを接続するためのインターフェースです。AD-8121を使用する場合、AD-8121-08のオプションケーブルが必要です。

取付け方法はOP-03と同様に取付けてください。

注意 プリンタ用インターフェイスを使用するときはRS-232C設定を常にF2-0に設定してください。

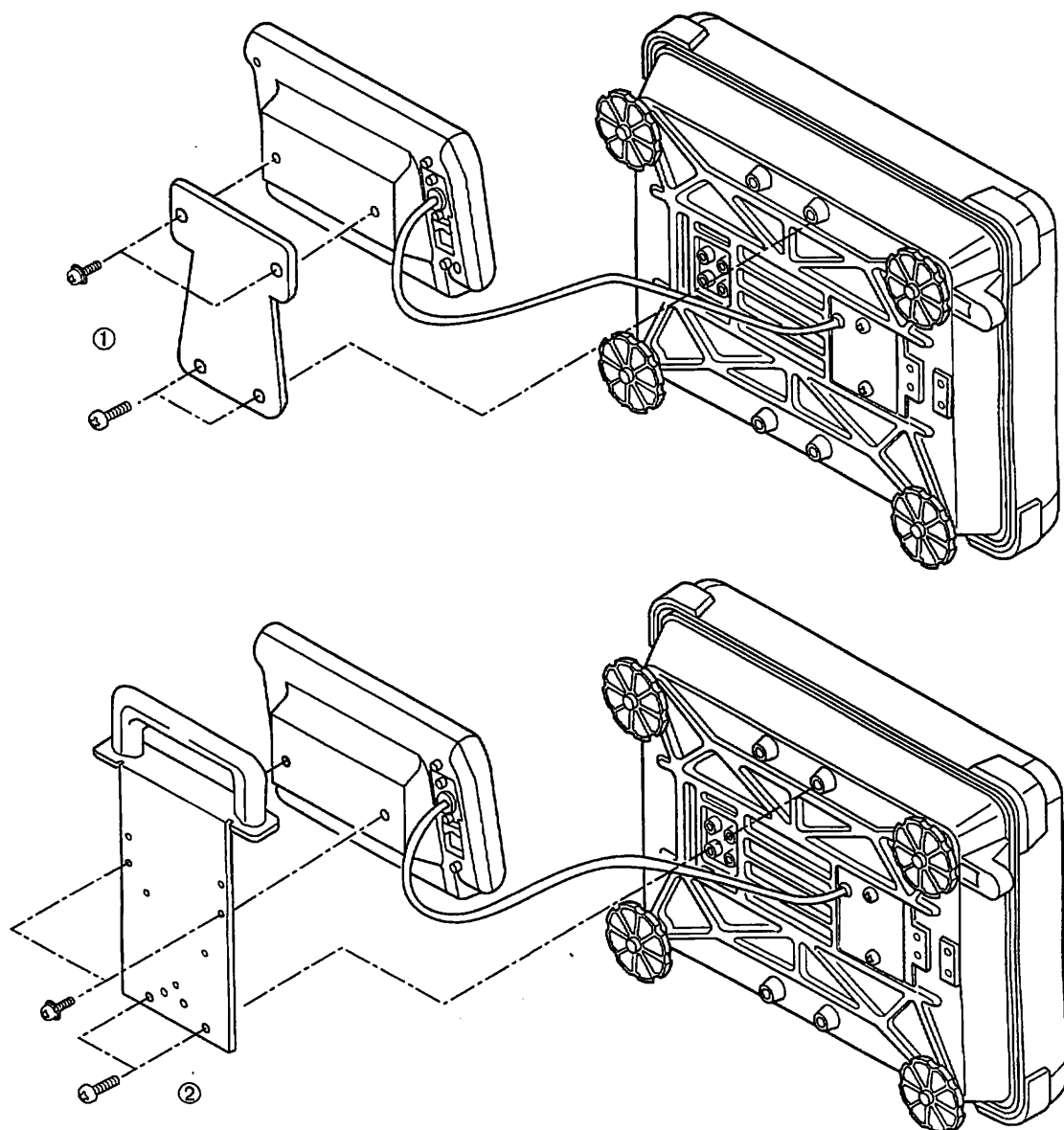


OP-05 コネクタの配線

OP-06 キャリングフック

一体型を簡単に携帯できるようにするためのハンドキャリアです。
一体型のFGは約8.5kgありますのでケガなどをしないよう取り扱いに注意してください。

- ① 表示器と台ひょうを固定しているねじ4本を外してください。(M4x8,M6x12)
- ② OP-06 キャリングフックと表示器をねじ止めしてください。(M4x8,M6x12)





10. キャリブレーション (校正)

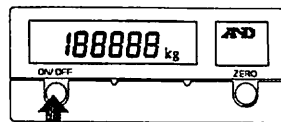
はかりを使用する地区 (重力加速度値) が変わったとき、または、はかりを再校正する場合は、以下の手順でキャリブレーションを行って下さい。



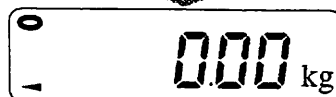
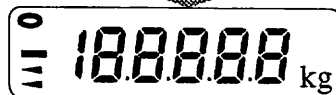
10-1 キャリブレーションの準備



ON/OFF スイッチを押して電源を入れてください。表示が “-----” になったときには **ZERO** スイッチを押して、重量を表示させてください。

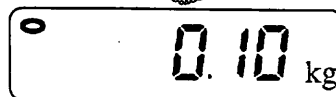


電源がOFFしないようにオートパワーオフ機能をOFFするかまたは、おもりなどを乗せて表示をゼロ以外にして、30分間以上通電状態にしてください。(ウォーミングアップ)



表示がゼロになると、オートパワーオフ機能が働いて電源が切れてしまいウォーミングアップできなくなります。

但し、重力加速度の補正だけを行う場合には、ウォーミングアップする必要はありません。

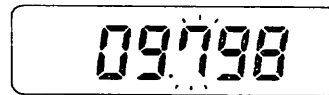
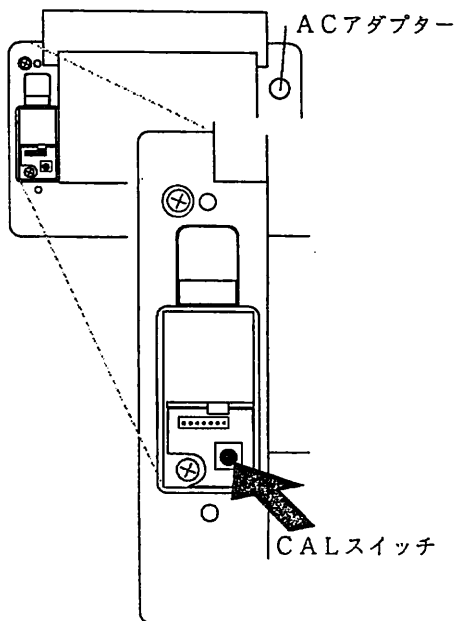


ゼロでない表示例



ウォーミングアップが終わったら、電源を切らずにそのまま、ケース右底にある蓋をはずして、CALスイッチを押してください。キャリブレーションモードに入ります。

キャリブレーションモードに入ると現在設定されている重力加速度値を表示します。





10-2 重力加速度補正

1

10-1 キャリブレーションの準備を行なってください。

2

キャリブレーションモードに入った時に表示される4桁の数字は、現在設定されている重力加速度の値です。FGを使用する地区の重力加速度値に合っているか重力加速度マップを使って確認して下さい。重力加速度値が使用する地区と合っていれば **ON/OFF** スイッチを押して電源を入れ直して計量するかまたは、**ZERO** スイッチを押してゼロのキャリブレーションに進んでください。値が違っている場合は、以下の設定方法で正しい値に設定して下さい。

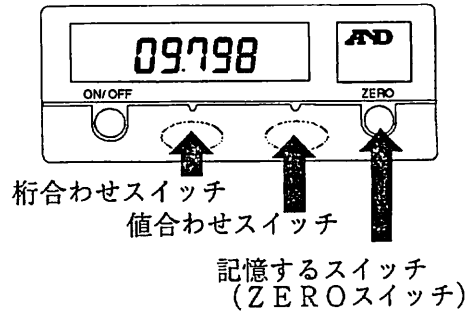
重力加速度の設定方法

《スイッチの意味》

ZEROスイッチ : 重力加速度の設定値を記憶するスイッチです。

桁合わせスイッチ : 下図の位置にスイッチがあります。設定する桁を選択します。
点滅により選択中の桁を知らせます。

値合わせスイッチ : 下図の位置にスイッチがあります。点滅中の桁の値を変更します。
押すごとに値が変わります。

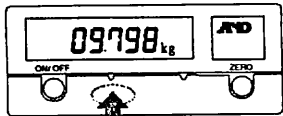


《重力加速度の設定方法例 (例 9区→1区、9.798→9.806)》

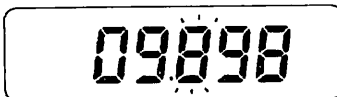
1



桁合わせスイッチを押して3桁目を選択します。
(3桁目が点滅)



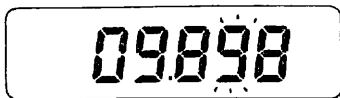
2



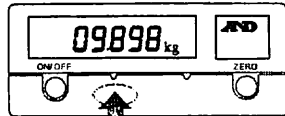
値合わせスイッチを押して3桁目の数字を '8' にします。



3



桁合わせスイッチを押して2桁目を選択します。
(2桁目が点滅)

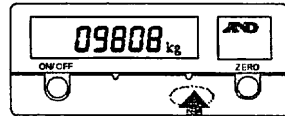


桁合わせスイッチ

4

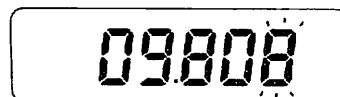


値合わせスイッチを押して2桁目の数字を '0' にします。

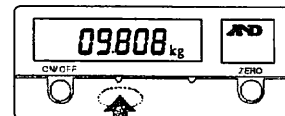


値合わせスイッチ

5

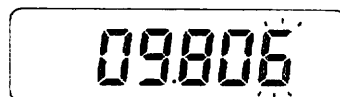


桁合わせスイッチを押して1桁目を選択します。
(1桁目が点滅)

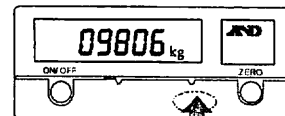


桁合わせスイッチ

6

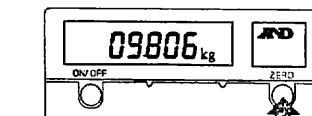


値合わせスイッチを押して1桁目を '6' にします。
(1桁目が点滅)



値合わせスイッチ

7



記憶するスイッチ

以上で重力加速度値の変更が終了し、ZEROスイッチを押してデータを記憶させます。データが記憶されると、自動的にゼロのキャリブレーション (ゼロ点校正) へ進みます。重力加速度の設定のみ行なう場合、ON/OFFスイッチで電源を切ってください。



10-3 ゼロのキャリブレーション (ゼロの校正)

ゼロのキャリブレーションは台ひょうに何も乗っていない状態でゼロ表示をするように校正します。

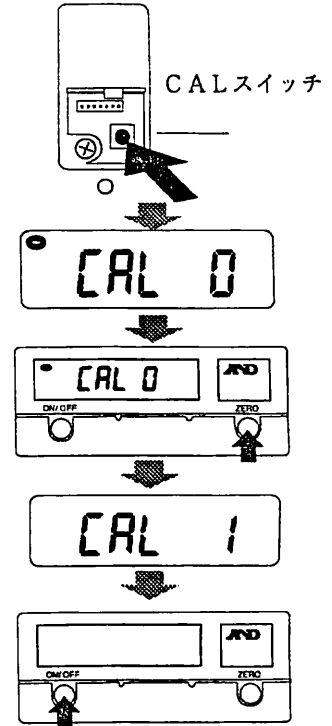
設定方法

1 「10-1キャリブレーションの準備」のウォーミングアップと「10-2重力加速度補正」を行なってください。

2 **CAL** スイッチを押して、CAL 0 と表示させてください。

3 安定マークが表示したなら、**ZERO** スイッチを押してください。ゼロ点を記憶し、CAL 1 表示になります。

4 ゼロのキャリブレーションを終了するために、**ON/OFF** スイッチを押して電源を切ってください。





10-4 スパンのキャリブレーション (スパンの校正)

スパンのキャリブレーションは計量値が正しく表示されるようにはかりを校正します。

《設定の注意》

1. スパン分銅は1級分銅を使用してください。
2. CAL カバーが封印されているものはキャリブレーションできません。
3. スパン分銅はひょう量の2/3以上を使用してください。

設定方法

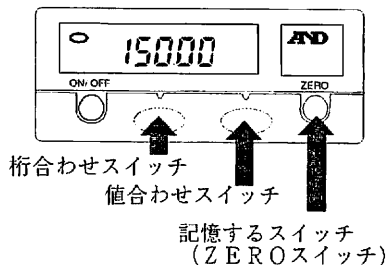
- 1 「10-1キャリブレーションの準備」のウォーミングアップと「10-2重力加速度補正」を行なってください。
- 2 **CAL** スイッチを押して、CAL 0 と表示させてください。
- 3 安定マークが表示したなら、**ZERO** スイッチを押してください。ゼロ点を記憶し、CAL 1 表示になります。
- 4 **桁合わせ** または **値合わせ** スイッチを押してください。スパンの分銅値を表示します。
- 5 スパン分銅値を次のスイッチで設定してください。

《スイッチの意味》

ZEROスイッチ : スパンを記憶するスイッチです。スパン分銅を乗せてから押してください。

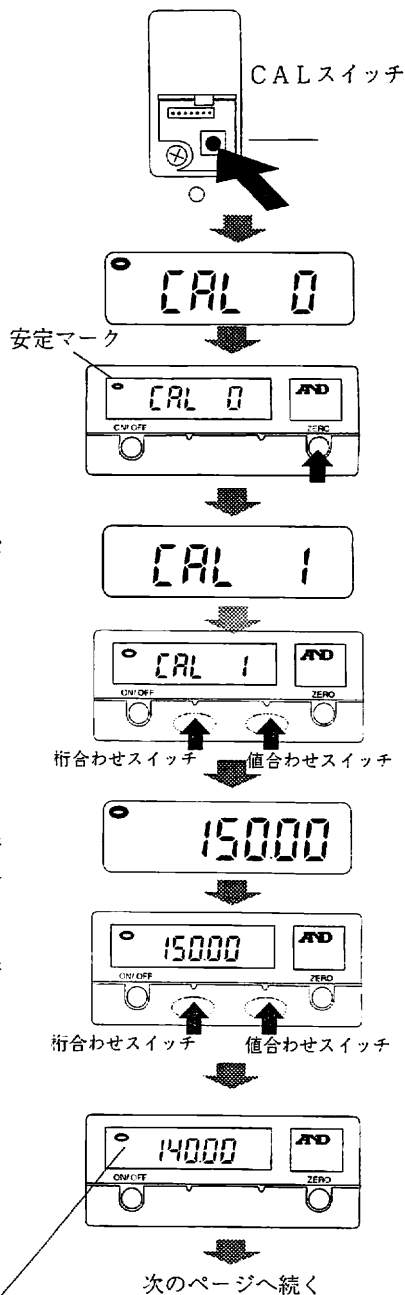
桁合わせスイッチ : 下図の位置にスイッチがあります。設定する桁を選択します。点滅により選択中の桁を知らせます。

値合わせスイッチ : 下図の位置にスイッチがあります。点滅中の桁の値を変更します。押すごとに値が変わります。



《設定例》

スパン分銅を150kgから140kgに変更した設定例です。



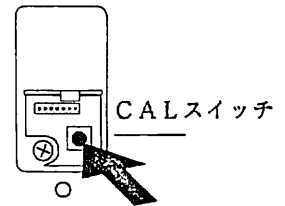
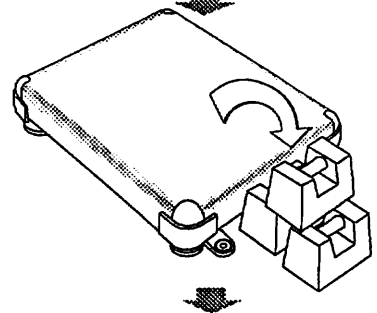
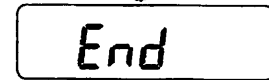
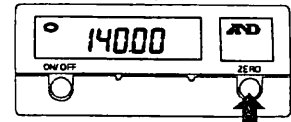
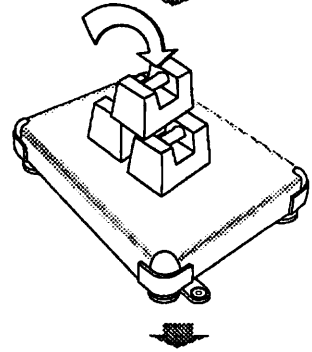
6 設定されたスパン分銅の重量を乗せてください。

7 安定マークが表示したなら、**ZERO** スイッチを押してください。スパンを記憶します。

8 スパン分銅を降ろしてください。

9 **CAL** スイッチを押してください。終了し通常の計量に進みます。

前ページより続く





1-1 修理を依頼される前に！

こんなときは故障ではありません。修理を依頼される前に確認してください。

現象	確認あるいは調整
電源をONしても何も表示しない。	<ul style="list-style-type: none">・電池は正しく入っていますか。・電池がなくなっていないですか。・ACアダプタは正しくついていますか。
----を表示したまま変わらない。	<ul style="list-style-type: none">・皿に何か乗っていませんか。・ゼロ点がズレていませんか。 (ZEROスイッチを押してみてください。)
負荷した重さと表示がズレている。	<ul style="list-style-type: none">・水平に設置されていますか。・重力加速度は合っていますか。
Err Bを表示した。	<ul style="list-style-type: none">・データが内部に正しく記憶されていません いったん電源をOFFし、再度設定してみてください。
スイッチがきかない。 表示が変化しない。	<ul style="list-style-type: none">・乾電池又はACアダプターを抜いて、1度電源を完全に切ってください。
ゼロスイッチが機能しない。	<ul style="list-style-type: none">・電源を入れたとき皿に何か乗っていませんか。 皿の上のものを降ろし、電源を入れ直してください。

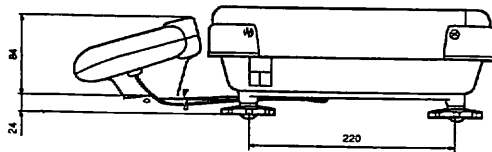
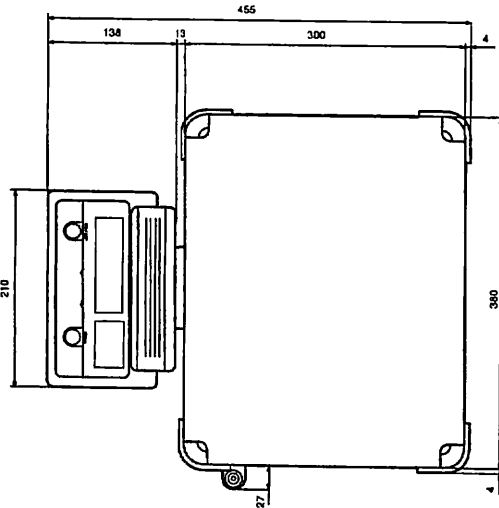
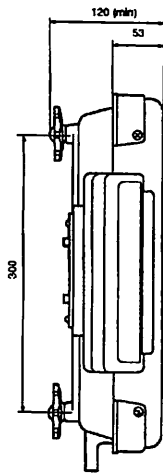
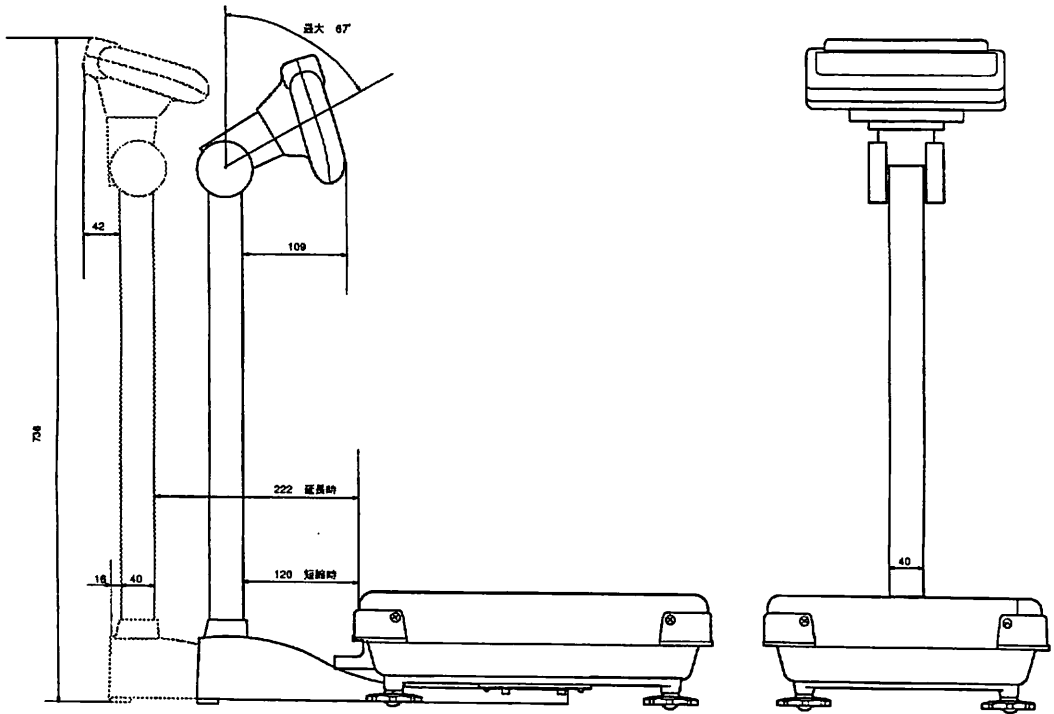


1.2. 仕様・外形図

型式	FG-30KA/B	FG-60KA/B	FG-150KA/B
秤量	31kg	60kg	150kg
最小表示	0.01kg	0.02kg	0.05kg
表示方法液晶表示	(文字高さ2.2mm、7セグメント)		
使用温湿度範囲	-5℃~35℃、85%RH以下(但し、結露しないこと)		
電源	ACアダプター (AX-TB113) 又は 単3乾電池6本		
乾電池寿命	アルカリ乾電池使用時約100時間		
計量皿寸法	300mm×380mm		
重量	ボール付き型 11.4kg / 一体型 8.5kg		

ボール付き型	FG-30KA
	FG-60KA
	FG-150KA

一体型	FG-30KB
	FG-60KB
	FG-150KB

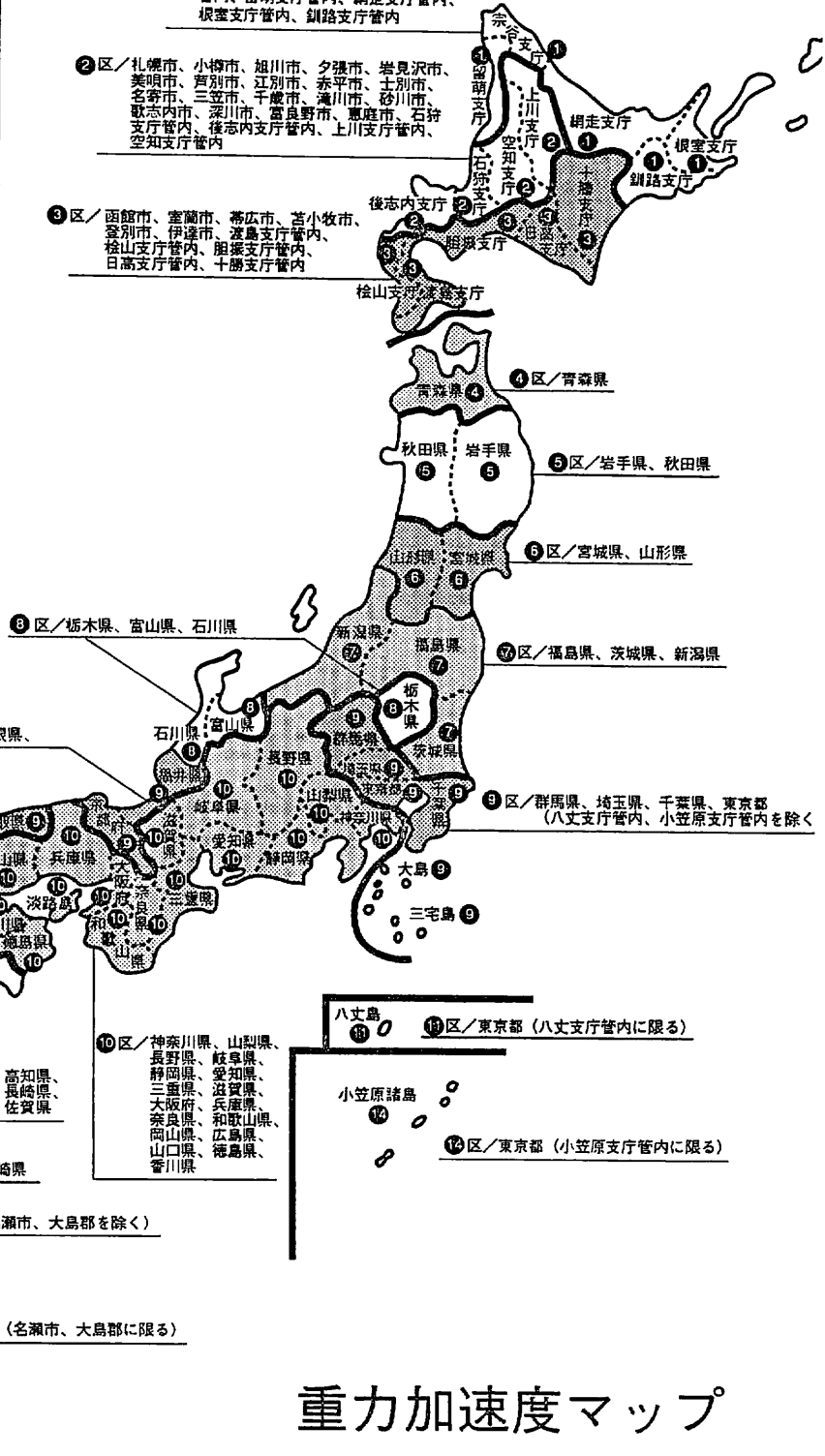


区	加速度
①	9.806
②	9.805
③	9.804
④	9.803
⑤	9.802
⑥	9.801
⑦	9.800
⑧	9.799
⑨	9.798
⑩	9.797
⑪	9.796
⑫	9.795
⑬	9.794
⑭	9.793
⑮	9.792
⑯	9.791

①区/ 釧路市、北見市、網走市、留萌市、稚内市、紋別市、根室市、宗谷支庁管内、留萌支庁管内、網走支庁管内、根室支庁管内、釧路支庁管内

②区/ 札幌市、小樽市、旭川市、夕張市、岩見沢市、美幌市、芦別市、江別市、赤平市、士別市、名寄市、三笠市、千歳市、滝川市、砂川市、歌志内市、深川市、富良野市、恵庭市、石狩支庁管内、後志内支庁管内、上川支庁管内、空知支庁管内

③区/ 函館市、室蘭市、帯広市、苫小牧市、登別市、伊達市、渡島支庁管内、桧山支庁管内、胆振支庁管内、日高支庁管内、十勝支庁管内



④区/ 青森県

⑤区/ 岩手県、秋田県

⑥区/ 宮城県、山形県

⑦区/ 福島県、茨城県、新潟県

⑧区/ 栃木県、富山県、石川県

⑨区/ 群馬県、埼玉県、千葉県、東京都 (八丈支庁管内、小笠原支庁管内を除く)

⑩区/ 福井県、京都府、鳥取県、島根県

⑪区/ 愛媛県、高知県、福岡県、長崎県、大分県、佐賀県

⑫区/ 熊本県、宮崎県

⑬区/ 鹿児島県、(名瀬市、大島郡を除く)

⑭区/ 鹿児島県、(名瀬市、大島郡に限る)

八丈島 ⑮区/ 東京都 (八丈支庁管内に限る)

小笠原諸島 ⑯区/ 東京都 (小笠原支庁管内に限る)

⑰沖縄県 ⑱区/ 沖縄県

重力加速度マップ